新任教諭研修会

研究経過

	期日	テーマ及び内容	俯瞰図番号	人数
1	5月24日（水）	講　師：荒井　晶子先生（ゆりかご幼樹園園長） テーマ：子どもの心を育てる絵本とは	新：B1－Ⅰ 旧：E6－Ⅰ	112
2	6月21日（水）	講　師：斎藤　正典先生（相模女子大学学芸学部子ども教育学科教授 相模女子大学幼稚部園長） テーマ：人間生豊かな保育者 子どもと共に育つ保育者研究会と合同	新・旧 B1－Ⅰ	89
3	9月20日（水）	講　師：神田　浩行先生（一般社団法人くすのき自然クラブ代表） テーマ：自然あそびのデザイン1～あそび集をつかいこなす1～ 経験者教諭研修会と合同	新・旧 E4－Ⅱ	83
4	10月18日（水）	講　師：RAMU先生・MEGUMI先生（キッズプランナー） テーマ：明日から使える手あそび・リズムあそび・わらべうた 県連オープン講座	新：B3－Ⅰ 旧：E6－Ⅰ	87
5	11月15日（水）	講　師：神田　浩行先生（一般社団法人くすのき自然クラブ代表） テーマ：自然あそびのデザイン2～あそび集をつかいこなす2～ 経験者教諭研修会と合同	新・旧 E4－Ⅲ	97
6	1月17日（水）	講　師：有本　昭久先生（日本児童遊戯研究所所長 子どもの遊び研究家／あやとり作家） テーマ：いろいろあそび	新：B3－Ⅱ 旧：E6－Ⅰ	180

◆研究参加園（47園）

江川幼稚園	川崎ふたば幼稚園	川崎さくら幼稚園	若宮幼稚園
東三輪幼稚園	ゆりかご幼稚園	浅田幼稚園	大師幼稚園
女躰神社幼稚園	梅園幼俳園	みゆき幼稚園	小峰幼稚園
白山幼稚園	鹿島田幼稚園	すみのえ幼稚園	サクラノ幼稚園
平間幼稚園	宮内幼稚園	つぼみ幼稚園	田園調布学園大学みらいこども園
諏訪幼稚園	若竹幼稚園	川崎めぐみ幼稚園	たちばな幼稚園
津田山幼稚園	新作やはた幼稚園	川崎たまがわ幼稚園	宮前幼稚園
有馬白百合幼稚園	初山幼稚園	さぎぬま幼稚園	ひばり幼稚園
潮見台みどり幼稚園	宮崎台幼稚園	丸山幼稚園	菅幼稚園
東菅幼稚園	桐光学園みどり幼稚園	玉川幼稚園	中野島幼稚園
桐光学園みどり幼稚園	ルミエール幼稚園	柿の実幼稚園	川崎青葉幼稚園
こうりんじ幼稚園	ちよがおか幼稚園	百合丘めぐみ幼稚園	

第１回　新任教諭研修会
月　日　平成29年５月24日（水）
場　所　中原市民館ホール
講　師　荒井　晶子先生
（ゆりかご幼稚園園長）
テーマ：こどもの心を育てる絵本とは
俯瞰図番号　新：B1－Ⅰ　旧：E6－Ⅰ

○読み聞かせとは

言語の大切さを知ることや、言語の成長や発達に絵本との出会いは必要である。昭和40年頃からヨーロッパの絵本が翻訳され、日本にも出まわるようになった。

昭和30年頃からアメリカで絵本が発展した。それは､実業家アンドリュー･カーネギーが「子どもたちに文化を与えなければならない」と図書館を建設したからであり、次のようなよい絵本が生まれた。

『もりのなか』『またもりへ』
作・絵　マリーホールエッツ
訳　　まさき　るりこ

『ちいさいおうち』
作・絵　バージニア・リー・バートン
訳　　石井　桃子

『いたずらきかんしゃちゅうちゅう』
作・絵　バージニア・リー・バートン
訳　　村岡　花子

○絵本の読み聞かせの基本について

『どろんこハリー』をもとに
作　　シーン・ジオン
絵　　マーガレット・ブロイ・グレアム
訳　　わたなべ　しげお

・読む前に表紙を見せる。つながっていることもあるので広げる
・作者を伝える
・おもちゃのように乱暴に扱わず、大切にする
・作者の意図されるものを考える
・めくる時に手で隠さない
・絵本の１番最後、作者が込めていること
・読んでもらっている時もうれしい
・読み終わった後の言葉の交換もうれしい
・読んだ内容を確認しない
・子どもから出てくる言葉を受けとめる

『みんなのこもりうた』をもとに
作　トルード・アルペルテ
絵　中谷　千代子
訳　石井　桃子

よい絵本は何年たっても変わらないもの。劣悪な絵本から子どもを守るために、子どもの精神が潤うような絵本を選ぶこと。読んで心を響かせることができる、何回読んでもあきない、大人にも響く、そして自分が感動する絵本を子どもに与えること。

子どもが眠りにつく時に幸せかどうかはとても大切なこと。子守歌や、ゆったり･やさしく･話しかけるような絵本は、眠っている８時間幸せな感情を持続することができる。

３歳は言語の発達期である。モンテッソーリ教育では、３段階レッスンとしてすべての名称を与えるとしている。例えば、①スプーンを教える②スプーンを取ってもらう③スプーンを見せて、何ですかと聞く。

『いまがたのしいもん』をもとに
作　シャーロット・ゾロトウ
絵　エリック・ブレグヴァド
訳　みらい　なな

親子の情愛がえがかれている絵本を読むことで、子どもの情愛が豊かになる。

絵本の最初の段階として、静けさを与えることが大事である。母親の肉声が言語を発達させるので、「生の言葉」や「言葉で語ること」が必要である。その語りのなかで子どもたちはイメージをつくる。

○素話と読み聞かせ

『３匹のくま』　ロシア民話
作　L･N･トルストイ
絵　バスネツォフ
訳　小笠原　豊樹

○素話と読み聞かせの比較と効果の話し合い
〈発表〉素話

・素話は想像を膨らませて聞いていた。絵本を見ると想像と違っていた。
・絵本は受け身、素話は個々の世界観がつくられる。想像する世界が違う。
・素話は想像できた。絵本はイメージしやすい。作者の気持ちが伝わる。
・素話は自由にイメージができ、それぞれの価値観が生まれる。絵本は1点に集中できる。
・素話は声の大きさなどでイメージが変わる。絵本は素話と違う楽しさがある。

子どもはたくさんのことを想像できるものではない。絵本との出会いがあるから名称を知ることができ、そのことで抽象化の世界に入っていくことができる。素話を聞くのは楽しいが想像には限界がある。読み聞かせをすることで、「考えよう」「わからせよう」ではなく、「ゆっくり」「心地よい」という感覚を持たせたい。それが眠りにつながり、母の声でイメージを繰り広げていくことができる。

子どもたちは繰り返しを好むので、その繰り返しが狂うと違和感を持つ。また、２歳半くらいから秩序感が生まれてくるので、話のすじみちを考えられるようになる。

また、大きい・中くらい・小さいという敬称の認知ができてくるので、そんな言葉も使えるようになってくる。現実にある形のあるもの、それを元にして空想の世界に入っていく。

○そのほかの絵本紹介

『ジオジオのかんむり』『かばくん』
　作　岸田　衿子
　絵　中谷　千代子
『かえるの家さがし』
　作　川野　雅代・石井　桃子
　絵　中谷　千代子
『まっててね』
　作　シャーロット・ゾロトウ
　絵　エリック・ブレグヴァド
　訳　みらい　なな
『あなたはだあれ』
　作　松谷　みよ子
　絵　瀬川　康男
『パリのおつきさま』
　写真　タナ・ボーン
　訳　　みらい　なな
『てぶくろ』
　ウクライナ民話
　絵　エラゲーニ・M・ラチョフ
　訳　うちだ　りさこ
『おやすみなさいフランシス』
　作　ラッセル・ホーバン
　絵　ガース・ウィリアムズ
　訳　松岡　享子
『フランシスのいえで』
　作　ラッセル・ホーバン
　絵　リリアン・ホーバン
　訳　松岡　享子
『しろいうさぎとくろいうさぎ』
　作・絵　ガース・ウィリアムズ
　訳　　松岡　享子
『しずくのぼうけん』
　作　マリア・テルリコフスカ
　絵　ボブタン・ブランコ
　訳　内田　莉莎子
『かわ』
　作・絵　かこ　さとし

第４回　新任教諭研修会
月　日　平成29年10月18日（水）
場　所　中原市民館ホール
講　師　RAMU先生
　　MEGUMI先生
　　（キッズプランナー）
テーマ：明日からすぐ使える手あそび・リズムあそび・わらべうた
俯瞰図番号　新：B3－Ⅰ　旧：E6－Ⅰ

○キッズプランナーとは

子どもの興味、発達に即したあそびを考え、提案している。あそびとは、遊びながら行う心理療法として使われることもあるように、子どもの成長にとって最高の栄養である。また、５領域にそって目的を持ったあそびで子どもの生きる力を育んでいきたい。

○朝の集会やお散歩に

♪どんぐり銀行に行こう（きらりん発表会4・5才）

今の季節子どもたちとドングリを拾って遊ぶことも多い。香川県には100個集めると苗１本と換えてくれるシステムがある。この歌はどんぐり銀行をどんぐり公園とかえて歌ってもよい。

♪まっすぐいってまがって（ハートいっぱい）

朝の集会でみんなが参加でき、仲良しになれる曲。両手を前に伸ばして進んでいき好きな方向に曲がる。何回か繰り返し出会った人と握手やハイタッチをする。最後に着いたところは本屋さんなどと設定して次のあそびにつなげる。

♪おへんじハーイ（はぴはぴチルドレン園生活あそび）

「男の子」「女の子」、朝ご飯食べてきた人など簡単質問をして、返事をしてもらう。

○わらべうた

昔から歌い継がれてきた子どもをあやすための歌。目の前にいる子どものことを思ってつくられている。流行りの歌にみられる速さはないがゆっくりした曲調が心地よい。

♪いっぽんばしこちょこちょ（コミュニキッズ☆9）
♪うまはとしとし・いすどっせ・せんたく・こはとうちゃんにんどころ・おでこさんをまいて（コミュニキッズ☆全）
♪おふねがぎっちらこ（コミュニキッズ☆２）

いたずら心を持って行うことが大事である。幼児はさまざまなあそびを中心に、毎日60分以上楽しく体を動かすことが大切なので、遊びながら運動できることがよい。

○定番曲をアレンジ

たくさんの曲を覚えるのは大変だが、１つ覚えるとアレンジしていくことができる。

♪大きなハワイの木の下で（コミュニキッズ☆3）

間奏で飛行機になり、着いた国の踊りを取り入れる。ハワイはフラダンス、ロシアはバレエ、スペインはフラメンコ、日本は盆踊り。

○食育活動

食育では「頑張って食べる」ではなく「おいしく楽しく食べる」ことを目標としている。おいしい体験の積み重ねは大切である。苦手なものは、①栽培②調理③共食によって興味と愛着がわく。

♪ビバ！ベジタボー！！（ビバ！ベジタボー！！）

１番が栽培、２番が調理、３番が共食になっていて自分自身の経験をもとに振りを考えて踊る。

食育エプロン
・おいしい○△□レストラン
・なんでも食べて元気いっぱい

なぜよく噛まないといけないかなど、体のなかがどうなっているかも見せられるようになっている。子どもたちが大好きなウンチも出てくる。

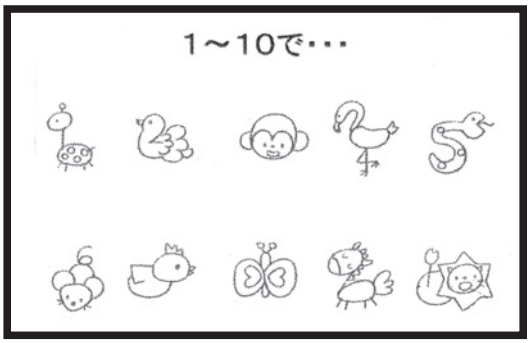
○知育

♪ハッピーアイスクリーム（ハートいっぱい）

同じ言葉を言ってしまった時に使う言葉あそび。

♪１・２・３のえかきうた（コミュニキッズ☆８）

数字に興味を持つようになったら、数字から動物を見立てる。外で砂にかいて行ってもよい。



♪むし・むしパン（コミュニキッズ☆６）

便器カバーを２枚使ってテントウムシやハチなどをつくる。最近は水道の蛇口もひねらずに水がでるので手首を使わなくなっている。手を返す運動ができる。

♪ギターをひきましょう（ハートいっぱい）

10人くらいのグループになり、４つの虫に分かれる。①バッタはギター②チョウチョはピアノ③カブトムシはたいこ①テントウムシはラッパの楽器をそれぞれが演奏する。発表会でオモチャの楽器を持たせてもよいし、年齢によっては本物の楽器を持たせてあげてもよい。

○タオルあそび

フェイスタオルと輪ゴムを使ってイヌ・ウサギ・ネズミ・トリをつくる。

♪ちぢんでのびて（コミュニキッズ☆10）

タオルを細くして両手で持ち、上に伸ばして広げたり、しゃがんだりする。そのあと、丸めてお花をつくり、「お花がわらった」。二つ折りにして中央をつかみチョウチョをつくり「ちょうちょ」。細長く丸めゾウの鼻にして「ぞうさん」。最後は丸めて上に投げ「シャボン玉」。また、友だちと投げて交換する。

○季節のあそび

12月　♪もみの木ようせい☆クリスマス（コミュニキッズ☆４）

列になって座り、遊びながら肩・頭・背中・手に触れながらコミュニケーションをする。

１月　♪おもちのもちたろう（コミュニキッズ☆10）

おもちの話をして、伸びることを伝え体全体を伸ばしてみる。

２月　♪マメマメ・パー（コミュニキッズ☆11）

ループタオルを豆に見立て、聞いた音によってどこに投げるか決めておく。聞く力や集中力をつけることが話を聞く力につながる。

○新聞紙あそび

♪しんぶんニンジャ（きらりん発表会４・５才）

①新聞を開いて頭からかぶり、隠れみの術

②新聞を破いて、分身の術

③新聞を相手に投げて、手裏剣の術

①新聞を上に投げて、木の葉隠れの術

○卒園式

♪応援ありがとう（きらりん発表会　全）

失敗しても、進めなくても大丈夫って言ってくれたママにありがとう。悔しくて泣いても頑張ったねと言ってくれたパパにありがとう。自信がなくてできなくても一緒にやろうって言ってくれた先生にありがとう。

♪はたらくくるま１（きらりん発表会　全）

入園したばかりで泣いている子がたくさんいる時でも、子どもたちが泣きやんで元気になれる曲をペープサートで行う。